



研究テーマ 大学における教学マネジメントに関する研究

高等教育研究・支援センター

山咲 博昭

准教授

YAMASAKI Hiroaki

博士（政策科学）（同志社大学）

■研究キーワード 組織論 / 人的資源管理論 / 高等教育 / 教学マネジメント / 内部質保証 / 大学評価 / FD / SD / IR

■主な所属学会 大学教育学会 / 日本教育工学会 / 大学行政管理学会 / 経営行動科学学会

■研究者総覧 <https://koto10.nara-wu.ac.jp/profile/ja.5b5b3d53be978565520e17560c007669.html>



研究者総覧

研究概要

研究関心は、組織や人の成長のきっかけや場をどのように作るのかです。これまで大学組織をフィールドとして、以下の研究課題に取り組んできました。一つは、理念・目的の実現に向けた組織、施策、人に着目した研究。もう一つは、教学マネジメントや大学評価などの高等教育政策に着目した研究。そして、最近の課題は、大学組織におけるコンフリクトの予防・対処に向けて、アクターや組織間での関係性などの事象の可視化方法や、折衝・調整に向けた対話の場の構築方法の検討等に着目した研究です。質的アプローチを用いて事象にせまろうとしています。

昨今、具体的な研究課題(科研費等採択分)は以下のものです。

1. 教学マネジメントの推進基盤に係る総合的研究
2. 大学における新任教員研修モデルの開発と実装
3. 日本の大学における内部質保証システムを推進する人材のありかたに関する研究



第8章「コロナ禍における学生の友人関係とコミュニケーション」を執筆



教学経営研究会公開研究会の様子(2024.11.30)

アピールポイント

私は大学職員、大学教員の両者の立場で教学マネジメントや大学評価の実務に関わってきました。そのため、私の研究課題は、現場や実務などの実践にいかに関与できるかを意識するなど、研究と実践の往還を意識した設定を行っていることが特徴の一つとしてあげられます。

研究体制としては、同じようなキャリア(職員経験をもつ教員や専門職)を歩む共同研究者との間で、各大学でどのように教学マネジメントを推進すれば良いのかを実務者、研究者の立場から検討する「教学経営推進研究会」を立ち上げています。調査研究に留まらず、調査研究結果を活用した話題提供や双方向のワークを通じた研究会、勉強会の開催、ティップス集の作成など研究成果を積極的に公開しています。

【1. 理念・目的の実現に向けた組織、施策、人に着目した研究】

大学組織において教学企画部門などの推進主体がどのような組織、施策によって大学や教育の理念・目的の実現に向けてアプローチしているのか、アプローチするに際してどのような役割や資質・能力を持つ人材が中心に動いているのか等の研究を進めています。

【2. 教学マネジメントなどの高等教育政策に着目した研究】

昨今の高等教育政策の動向のみならず、歴史的経緯を整理しながら、どのような事が各大学や現場に求められているのかを分析しています。その結果として、各大学での実施に向けて留意すべき点を整理したチェックリストの開発など、実践への還元を意識した研究を進めています。

【3. 大学組織におけるコンフリクト対処に向けた手法の検討】

アクターや組織間での関係性などの事象の可視化方法や、折衝・調整に向けた対話の場の構築方法の検討等に着目した研究を進めています。共同研究者以外の実務者の視点を取り入れたワークショップ等を実施しながら研究を進めています。